

## 木材加工の自動搬送・仕分けの自動化設備導入による生産性向上

会社名 (有)竹中製材所

会社概要 宮崎県産木材の製材～パレット製作・販売

## 1. 相談のきっかけ

木材製材所における、丸太を切り出し製材を行う工場内の、設備の老朽化、顧客ニーズの多様化や需要増への対応、製造現場の環境改善を目的として、設備投資を検討。また、製品の品質向上策として自作設備の木材のカビ止め槽の整備を検討。活用できる補助金等があれば教えてほしい。

## 2. 課題整理・分析

工場を訪問し、課題となっている、木材切削工程を視察。設備は古く、人力で行う力仕事が多く、従業員の負担は大きい(離職にも繋がっている)。生産効率も悪いことで、多様化している顧客ニーズに対応することが難しくなっている。木材パレットの需要は増加している為、生産性向上と需要増への対応が必要である。

## 3. 解決策の提案

ものづくり補助金の活用を提案。加えて、木材のカビ止め槽による品質向上も検討されていたため、経営革新計画、事業継続力強化事業計画書の作成も提案。製造設備については補助金活用を行うが、カビ止め槽については、効率化と品質向上が緊急の課題であるため、先行して整備を行うことを提案。

## 4. 成果

かねてより課題であった、狭い場所でのカビ止め処理工程を先行して整備を進めてもらった。作業効率化ができ、人材がつきっきりで処理を行う必要がなくなり、工場内の余裕が生まれ、品質も向上した。並行して、経営革新計画と事業継続力強化事業計画書の作成を支援し、経営革新計画の認定取得、事業継続力強化事業の認定取得。2つの計画書作成が完了次第、ものづくり補助金の事業計画書作成を支援。何度もサテライトに訪問いただき添削を行い、計画書を作成後、申請を行い採択された。現在、事業計画書に基づき、製材所内の設備導入を行っているところである。設備導入が完了し、工場稼働となれば、職場環境の改善、精細度な加工による顧客ニーズへの対応、生産性向上による需要増への対応で大きく売上高向上が見込める。

## 5. 相談者の声（常務取締役 前田政明様）

補助金等の情報がわからず、各施策を説明してもらい、自社に合わせた活用を提案してもらい助かった。また、事業計画書を作成したことがなく、今回は3つの事業計画書の作成を支援してもらったことで、事業計画書を作成する意味が理解できた。自分の頭の中にあつた情報が見える化されて、事業の全体像がしっかり把握でき、社内でも何を行うかを理解してもらえた。結果として補助金が採択され、資金的にも大変助かった。事業計画通りに進捗するかもフォローしてもらいたい。